

練習なしに上達！？ 哲学で考える「遺伝子操作」

藤枝真
大谷大学文学部哲学科

0

視力を補助・強化するメガネ



1

走りを補助・強化するスパイク



2

筋力を補助・強化する アシストスーツ



3

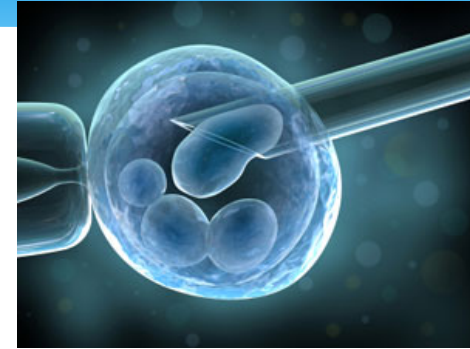
運動能力を補助・強化する薬？



4

4

運動能力を補助・強化する遺伝子選択？



UC Health
<https://www.uchealth.com/fertility/patient-services/pgd-pgs-preimplantation-genetic-diagnosis-screening/>

5

今日の問いかけ：

- * 遺伝子操作のおかげで、努力せずですぐれた能力を身につけることができるとしたら、みなさんはそれに賛成しますか？

6

6

考えるためのいくつかのポイント

- * 医学・薬学・工学的な操作によって、ある能力を高めることができるとして、それをすることは倫理的に正しいことだろうか？
- * 治療が目的の操作は実際に許されている一方で、それ以外の操作は制限されるべきだろうか？
- * どこまでがOKで、どこからがNGかを「線引き」する根拠があるとすれば、それはなんだろうか？

7

ところで:

*「遺伝子操作」をテツガクで考えてみるのが今日の大きなテーマ。

8

テツガクってなんだろう？

(画像は大谷大学哲学科サイトより)

立ち止まった「？」が



出発点になる

9

哲学とはなにか？

*哲学とは
「ものごとをできるだけ丁寧に、
筋道をたてて考えること」
である。

10

身近な疑問がなんでもテーマになるのが
哲学のおもしろさ！

- * 人間とはなにか？
- * 時間って、もう二度と戻らないの？
- * なにが善いことで、なにが悪いことなんだろう？
- * なんで私は生きている？
- * カミサマ・ホトケサマって、なにもの？
- * 自分の身体は「自分のもの」って言って良い？
- * 本当に学校へ行かなければならないの？…

11

11

「？」体験を考えるのがテツガク

- * なにげない日常のなかで見つけた「？」。
- * その「？」についてできるだけ正確に考えることが哲学です。

12

12

こんな人に哲学を学んでほしい

- * 哲学を学びながら日常の疑問を追求したい人
- * 身近な人との関係を見直したい人
- * 生死とは、といった問いに関心がある人

(大谷大学『2020 CAMPUS LIFE』より)

13

13

哲学科の学び方

- * 文献を通じた対話や、教員や友人との議論など、人とかかわりの中で他者の見解を知る
 - * 多様かつ柔軟な視点と論理的思考力を培う
(学年ごとに段階的にこれらのことを学ぶことによって)
- ↓
- ・ 自分を表現することが身につく
 - ・ 現代の諸問題に対処できる力が育まれる

14

14

哲学って・・・

- * なにかの意見や主張を、あらゆる角度から精密に合理的に検討してみること。
- * この哲学の姿勢は、学校での学びで活かされるのはもちろんのこと、仕事に就いてからも求められるとても重要な姿勢です。

15

15

哲学者イマヌエル・カントのことば

- * あなたの人格の中にも他のすべての人の人格の中にもある人間性を、あなたがいつも同時に目的として用い、決して単に手段としてのみ用いない、というようなふうに行為せよ。

16

16

哲学者ジュリアン・サヴァレスキュのことば

- * 健康とは、われわれがしたいと思うことをするのを助けてくれる資源に過ぎない。
- * 親には自分の子どもの健康を増進する義務があるだけでなく、自分の子どもを遺伝子改造する道徳的義務も課されている。

17

17

- * 親はさまざまな方法(学校、塾、家庭教師、楽器やスポーツなどの習い事のレッスン、食事・サプリ)で子どもの成長を支援しようとする。
- * 遺伝子操作で子どもの成長をあらかじめ支援するのは、いけないことだろうか。

18

18

その一方で...

- * たとえば仮に「優れたスポーツ選手になれるように、筋力が発達しやすくなる遺伝子をもった受精卵を選んで生んだんだから、がんばりなさい」と、わたしの未来がもう決められていたとしたら、どんな感じがするだろうか？

19

19

参考資料

- * マイケル・サンデル『完全な人間を目指さなくてもよい理由』
林芳紀・伊吹友秀訳、ナカニシヤ出版、2010年
- * 児玉聡・なつたか『マンガで学ぶ生命倫理』化学同人、2013年
- * 玉井真理子・松田純責任編集『遺伝子と医療』
(シリーズ生命倫理学11) 丸善出版、2013年
- * University of Cincinnati Medical Center (UC Health)
- * 『カント』野田又夫責任編集、世界の名著39、中央公論社、1979年

20